

Social

労働安全衛生

社会課題に 対する考え方

労働災害の防止や健康阻害につながる長時間労働の削減、メンタルヘルスへの対応に加え、シニア労働者の安全・健康の確保、新型コロナウイルス感染予防対策とそれに伴うストレスの緩和など、労働安全衛生には多岐にわたる取り組みが求められています。アンリツグループは、価値創造の源となる社員の労働安全衛生環境の整備・充実に重要課題として認

識しています。社員一人ひとりが健康に働き、活力のある職場を実現させることで生産性の向上、創造力の発揮につながると考えています。

方針

アンリツグループは、サステナビリティ方針およびアンリツグループ企業行動憲章、アンリツグループ行動規範において、関係法令を遵守し、健康と安全に配慮した職場環境を整備することを定めています。

また、社員一人ひとりの健康保持・増進に、会社・健康保険組合それぞれの立場でより積極的に関与していくために、国内アンリツグループを対象とした「アンリツグループ健康経営方針」を定めています。

アンリツ労働組合と締結している労働協約においても、安全確保や健康保持・増進に向けた事業主の適切な措置の履行、安全衛生委員会設置と委員選出基準、教育や健診の実施、危険・有害業務の就業制限など、安全衛生に関する必要事項を規定しています。

サステナビリティ方針

グローバル社会の持続可能な未来づくりに貢献するこ

とを通じて、企業価値の向上を目指す指針として「すべての人の人権を尊重し、多様な人財とともに個々人が成長し、健康で働きがいのある職場づくりに努める」ことを宣言しています。

アンリツグループ企業行動憲章

企業行動の指針として「従業員一人ひとりの個性、多様性、人格を尊重し、能力を十分に発揮できる働き方を実現します。健康と安全に配慮した、生き生きと働ける職場環境を整備する」ことを宣言しています。

アンリツグループ行動規範

アンリツグループで働く全ての人が業務遂行において取るべき行動の指針として、労働安全衛生では次の3つを定めています。

- 私達は、業務上の安全・衛生に関する法令等を遵守し、安全・安心で、衛生的な働く環境の整備に努めます。
- 私達は、業務を行う上で必要なモラル・マナーの向上

に努め、規律正しい働く環境づくりに努めます。

- 私達は、業務を行うために健全なコミュニケーションを心がけ、働きやすい環境づくりに努めます。

アンリツグループ健康経営方針

アンリツグループは、社員一人ひとりが健康で生き生きと働いていることが、企業価値の源泉であると考えています。全ての社員が健康について関心を持ち、自身の健康上の課題を認識し、健康保持・増進に向けて自律的な取り組みを進めている状態を目指し、アンリツグループ各社とアンリツ健康保険組合が一体となり、健康経営の実現に向けた活動を進めます。

WEB サステナビリティ方針

WEB アンリツグループ企業行動憲章

WEB アンリツグループ行動規範

WEB アンリツグループ健康経営方針

体制

国内アンリツグループでは、アンリツ(株)の安全衛生担当役員が安全衛生の最高責任者を務め、グループ共通の安全衛生に関する事項の決定、実施の指示を行っている他、四半期ごとに経営戦略会議にて業務災害や通勤災害の発生件数などを報告し、関係法令に準拠した安全衛生管理体制を確立しています。

定期的な職場巡視や健康診断・特殊健康診断・ストレスチェックならびにその後の措置、心身の健康に関する個別相談対応など、グループ社員の健康保持・増進は、アンリツ(株)健康管理室に所属する複数の産業医・産業カウンセラーを中心とする産業保健スタッフが支援する体制を構築しています。

目標

安全に関する目標

→ 国内アンリツグループは、労働災害、通勤途上災害の発生ゼロを目標とする。

健康管理に関する目標

→ 国内アンリツグループは、社員の一層の健康保持・増進に向けた取り組みを通じ、一層の健康意識の高揚を目指す。
2020年度までの中期経営計画の結果をふまえて策定した2023年度までの計画に基づいて目標達成に向けた活動を行う。

※ 目標と実績は66ページに掲載

なお、国内アンリツグループの社員が従事する業務は、特定の疾病の発症率や発症リスクが高い業務に該当しません。

取り組み／活動実績

安全衛生委員会を通じた取り組み

アンリツ(株)は、労使合同の安全衛生委員会を月次で開催しており、国内アンリツグループ全体で情報や施策などを水平展開しています。審議内容は、議事録とともにイントラネットです速やかに開示し、全ての社員に周知しています。経営監査室には個別に送付し、同室が安全衛生状況を把握しています。

2021年度の委員会は新型コロナウイルス感染予防のため、年間を通してオンライン開催で運営しました。テレワークによる心身の弊害やワクチン接種の有効性な

ど、新型コロナウイルス感染症関連について議論を行いました。

アンリツ(株)安全衛生委員会構成(2021年度)

委員長	アンリツ(株)人事総務部 人事労務チーム部長
副委員長	2名(うち1名はアンリツ労働組合が選出)
委員	10名(うち5名はアンリツ労働組合が選出)

上記の他、産業医、国内アンリツグループ会社の社員、健康保険組合役職員、委員会事務局メンバーが参加しています。なお、アンリツ労働組合は、アンリツ(株)とユニオンショップ協定を締結している労働組合です。

安全の目標に対する結果と主な対策

2021年度は、休業災害0件、不休災害4件が発生しました。カッターナイフの切創、窓枠による切り傷、階段の踏み外し、帰宅中の会社敷地内にて濡れた路面での転倒の4件です。

各事案については、発生後直ちに不安全行動や不安全状態などを究明するとともに、リスクアセスメントを実施し、作業手順(方法)を見直しました。災害が発生した作業をなくし、ハード対策では保護具を取付けるなど、再発防止の徹底に努めています。2022年度は、改めて国内アンリツグループ全体で労働災害ゼロを目指し、活動を進めています。

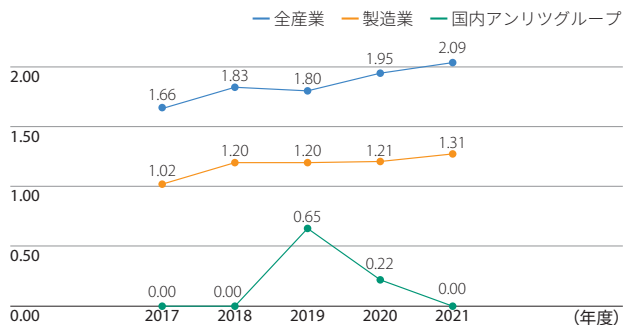
通勤途上災害に関しては、2021年度、国内アンリツグループ全体で休業が1件、不休事案が2件発生しました。自転車走行中の左折車両による巻き込まれ事故、歩行中の突風による転倒、自動車通勤中の被害事故です。今後も、歩行中や自転車(車両を含めた)運転中におけ

る一層の安全意識（危険予知）の向上に取り組めます。

国内アンリツグループ労働災害の発生状況（2021年度）

種別	件数(前年度比)
休業災害	0(−1)
不休災害	4(±0)
通勤途上災害	3(+1)
うち 休業(1日以上)に至る通勤途上災害	1(+1)

労働災害度数率推移（100万時間当たり）



健康の目標に対する結果と主な対策

健康経営中期計画における2021年度の取り組み結果は、次の通りです。糖代謝ハイリスク層に対して産業医面談を従業員・上司も交え実施し、概ね順調に推移しました。

健康経営中期経営計画における目標と実績

	課題	KPI	ベンチマーク	2021年度目標	2021年実績
1	安定的・継続的就業や将来の健康維持にリスクのある層の極小化・維持	☆糖代謝ハイリスク層比率（空腹時血糖200mg/dl or HbA1c8.0%以上）	2.4(1)	2.0%以内	1.0%
		☆高血圧ハイリスク層比率（血圧180/110以上）	1.7(1)	1.5%以内	0.3%
		メンタル休業率(国内アンリツグループ期末休業者比率)	0.8(2)	0.8%以内	0.5%
2	健康意識の高揚	☆適正体重維持者率(BMI18.5以上25.0未満)	64.9(1)	64%以下★	64.0%
		☆運動習慣維持者率(30分/回以上の軽く汗をかく運動を2回/W以上)	23.7(1)	25.1%以上★	26.3%
		☆身体活動基準維持者率(歩行または同程度の身体活動を1h/日以上)	35.6(3)	36.1%以上★	33.0%
		☆生活習慣改善取り組み率	24.6(3)	27.6%以上★	32.3%
		健康アプリ(Pepup)登録率	43.1%	43.1%以上★	43.2%
3	健康経営の定着	◎健康経営優良法人認定(アンリツ(株)単体)	認定	認定継続	認定

◎：主要KPI ☆：本社地区定期健診データを基準
 (1)：経産省2018健康経営度調査参加企業平均値
 (2)：厚労省H29労働安全衛生調査大企業メンタル休業者割合
 (3)：健保連集計値の男性のデータ
 ★：2020年度実績

➡ P.69 労働安全衛生関連データ

労働基準に関するイニシアチブへの参加

アンリツ(株)安全衛生担当役員が、2020年度から2021年度まで2年間の任期で(公益社団法人)神奈川県労働安全衛生協会理事および厚木支部長を務め、県内・地域の労働安全衛生水準の向上に貢献しました。

また、役員以外にも、2019年度より厚木市セーフコミュニティ職場(労働)の安全対策委員会に参画し、地域内の安全衛生水準の向上にも貢献しています。



厚木支部長として挨拶する安全衛生担当役員

ISO 45001の認証取得状況

Anritsu EMEA Ltd.(英国)は2019年9月、労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格であるOHSAS18001からISO 45001へ認証の移行を完了しました。また、Anritsu A/S(デンマーク)も2020年2月に移行を完了しています。

この規格に則り、両社では安全で健康的な職場環境づくりを推進しています。



Anritsu EMEA Ltd.
ISO 45001 登録証



Anritsu A/S
ISO 45001 登録証

健康経営優良法人2022 認定

アンリツ(株)は、経済産業省と日本健康会議が主催する「健康経営優良法人2022」において、定期健康診断・ワークライフバランス・健康増進・生活習慣予防対策・メンタルヘルス制度・施策の実施状況などが、選定基準をクリアしたことから、大規模法人部門に6年連続で認定されました。

健康経営優良法人認定制度は、健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みのもとに、優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄」のフレームワークである、①経営理念、②組織体制、③制度・施策実行、④評価・改善、⑤法令遵守・リスクマネジメントからなる5つの評価項目を用いて認定されます。



社員の健康のための働き方改革

国内アンリツグループでは社員の健康と安全を第一に、生産性を向上させてイノベーションを起こし、企業価値向上へつなげることを目的とした働き方改革を行っています。健康障害の原因となる長時間労働に対して

は、時間外労働の削減、深夜時間帯勤務の極小化、定時退社日運用の徹底など、全社共通のマネジメント方針に基づき労働時間の適正化を進めています。2021年度は、パソコンへのアクセス時間を見える化し、在宅勤務時における所定外労働時間を極力なくす取り組みなどを通じ、国内グループ全体の年間平均所定外労働時間を前々年度比で36%、前年度比で6.5%削減することができました。

生産性向上に関しては、定められた始業時間出社の励行をはじめ、19時以降原則退社およびフロアの消灯、会議時間の短縮・効率化、不要な会議の廃止などに取り組んでいます。開発部門では、海外との時差により夜間・早朝に発生する業務に対し、身体負荷軽減のためのテレワーク(在宅勤務)を導入しています。

また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、社員およびその家族の健康を守るため国内アンリツグループ全体でテレワークを実施しました。BCP対策としてのテレワークは2022年5月で一旦終了しました。その後はワークライフバランスの向上、業務の効率化、生産性向上の観点から、月4回を上限とする在宅勤務制度を導入しましたが、感染再拡大を受けて、重症化リスクのある社員のテレワークを増やすなどの対策を行っています。

➡ P.53 ワークライフバランス

➡ P.93 時間外勤務管理の徹底

研修・セミナーの実施

国内アンリツグループでは、労働安全衛生に関する各種研修やセミナーを毎年実施しています。2020年度に続き、2021年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、オンラインで開催可能な教育と屋外での研修会のみを計画しました。また、それ以外の専門教育は、Webでの受講ができない部門のみが会場で受講するなど柔軟な対応を図りました。しかし、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用に伴い計画を見直さざるを得ず、実施できないものもありました。

2022年度は感染状況を考慮しながら、集合形式・オンライン形式の併用により、より効果のある研修・セミナーを検討します。



二輪車安全運転講習会

国内アンリツグループ社員を対象とした

主な講習・教育の実績(2021年度)

(単位：人)

教育内容		参加人数
社内講習・教育	高圧ガス取扱保安教育	62
	二輪車安全運転講習	3
	新入社員安全衛生教育	52
	新入社員労働衛生教育	52

新型コロナウイルス感染予防対策

新型コロナウイルス感染症に対する緊急時対応として、以下の対策を講じました。

- ・ 出社前検温、出社時のサーモグラフィカメラによる検温
- ・ 手指消毒、執務室や食堂、トイレなど社内消毒の徹底
- ・ ソーシャルディスタンス確保のため、会議室・食堂などへのアクリルパネル設置、会議室、エレベーターの利用人数制限、食堂の4交替利用による混雑解消
- ・ 不織布マスクの配付および職場でのマスク着用徹底
- ・ 本人および家族の体調不良時に安心して休むことができる特別休暇の適用
- ・ 事業所内で働くすべての方とその家族を対象とした職域接種の実施(2021年7月～8月と2022年2月に計3回)

➡ P.100 感染症対策

その他の労働安全衛生における取り組み

労働安全衛生全般

- ・ 安全衛生委員会を通じた活動状況の確認や災害防止策の立案
- ・ 階層別教育やリスクアセスメントなどの目的別研修を通じた安全衛生意識の向上
- ・ 正社員の他、契約・パート・派遣社員に対する雇入時の労働安全衛生教育の実施

「安全」に重きを置いた取り組み

- ・ 機械設備の新規導入・移動・変更時および化学物質購入時の事前審査による災害リスク低減
- ・ 作業環境測定や職場巡視、防災訓練、防災教育や普通救命講習を通じた安全・安心で快適な職場づくり

「健康」に重きを置いた取り組み

- ・ 各種健康診断(定期、特殊、雇入時、海外赴任者)、ストレスチェック制度の実施とフォローアップ
- ・ 長時間残業者の問診票によるスクリーニングと産業医面談および健康確保措置の実施
- ・ メンタルヘルスケアを目的とする幹部職向けの教育、カウンセリング

労働安全衛生関連データ

各年度3月末時点

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
定期健康診断受診率 (%)	100	100	100	100	100	100	神奈川県における国内アンリツグループの定期健康診断(集団健診)結果に基づく数値
定期健康診断精密検査受診率 (%)	68.2	56.7	72.5	73.7	55.5	65.6	神奈川県における国内アンリツグループの定期健康診断(集団健診)結果に基づく数値
定期健康診断有所見率 (%)	56.0	57.9	57.9	59.9	62.9	62.2	神奈川県における国内アンリツグループの定期健康診断(集団健診)結果に基づく数値
喫煙率 (%)	26.1	22.1	21.8	20.5	20.3	18.9	神奈川県における国内アンリツグループの定期健康診断(集団健診)結果に基づく数値(40歳以上社員の喫煙率)
運動習慣者比率 (%)	23.1	26.5	27.0	28.6	24.9	26.9	神奈川県における国内アンリツグループの定期健康診断(集団健診)結果に基づく数値(40歳以上社員のうち週2回以上、1回30分以上の運動を行っている社員の割合)
年間所定内労働時間数(時間)	1,890.7	1,877.3	1,872.2	1,875.2	1,860.0	1,867.8	国内アンリツグループ平均値
月平均所定外労働時間数(時間)	15.1	14.8	16.9	18.4	11.1	11.0	国内アンリツグループの各年度末時点在籍の管理職を除く正規従業員の月平均所定外労働時間数
年次休暇取得率 (%)	73.2	79.0	78.2	77.0	70.4	71.9	国内アンリツグループの各年度末時点在籍の管理職を除く正規従業員の取得率(休暇取得日数÷当該年度付与日数×100)
業務上災害件数(件)	4	7	6	4	5	4	国内アンリツグループの合計値
休業(4日以上)災害件数(件)	1	0	0	1	0	0	国内アンリツグループの合計値の内数
業務上疾病件数(件)	0	0	0	0	0	0	国内アンリツグループの合計値の内数
休業日数(日)	9	0	0	52	3	0	国内アンリツグループの合計値
死亡者数(人)	0	0	0	0	0	0	国内アンリツグループの合計値
労働災害度数率	0.21	0.00	0.00	0.65	0.22	0.00	国内アンリツグループの統計値(労働災害死傷者数÷延労働時間×1,000,000)
労働災害強度率	0.002	0.000	0.000	0.011	0.001	0.000	国内アンリツグループの統計値(損失日数÷延労働時間×1,000)
通勤途上災害件数(件)	8	15	4	6	2	3	国内アンリツグループの合計値
休業(4日以上)災害件数(件)	2	5	3	0	0	1	国内アンリツグループの合計値の内数